

令和7年度 こども・若者会議 こども・若者計画発表会 報告書



日 時：令和8年3月29日（日）

14：00 ～ 15：00

場 所：西日本こども研修センターあかし

（明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7）

こども・若者計画発表会の概要

1 開催日時

令和8年3月29日（日）14:00～15:00

2 場所

西日本こども研修センターあかし（明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7）

3 当日参加者（27名）

小学1年生…2名	小学2年生…1名	小学3年生…2名
小学4年生…5名	小学5年生…1名	小学6年生…1名
中学1年生…1名	中学2年生…2名	中学3年生…2名
高校1年生…1名	高校2年生…4名	
大学1年生…1名	大学3年生…1名	若者（20代）…3名

4 プログラム

	項目	目安時間	詳細内容
1	<u>開会のあいさつ</u>	14:00 (5分)	司会：こども・若者メンバー
2	<u>こども・若者計画の説明</u> こども・若者計画概要や計画づくりの過程などについて、こども・若者会議メンバーから説明を行いました。	14:05 (15分)	進行：こども・若者メンバー 説明：こども・若者メンバー
3	<u>こども・若者会議メンバー全員からの一言</u> こども・若者計画づくりをした感想や込められた想い、これからやっていきたいことなどについて、一人一言ずつ発表しました。	14:20 (10分)	進行：こども・若者メンバー
4	<u>来場者からのコメント（感想）</u> 来場者の中から数名に感想をいただきました。	14:30 (10分)	進行：こども・若者メンバー
5	<u>丸谷市長から一言</u>	14:40 (5分)	進行：こども・若者メンバー
6	<u>写真撮影</u> メンバー全員で写真撮影	14:45 (5分)	カメラマン：広報課職員
7	<u>閉会</u> 市長から一人一人に記念品を贈呈しました。	14:50 (10分)	司会：事務局職員

5 当日の様子

開会にあたり、こども・若者たち自身で受付や会場設営を行いました。

発表会では、策定したこども・若者計画について概要を説明し、その後、こども・若者会議メンバー全員から、計画づくりをした感想や想い、これからの意気込みなどについて、一言ずつ発表しました。

最後に参加者全員で写真撮影し、市長から参加者一人一人に記念品の贈呈を行い、こども・若者計画発表会を終了しました。



6 完成したこども・若者計画

明石市

こども・若者計画



2026年(令和8年)3月

明石市

わたしたちの想い

私たちは、明石市に住み、学び、働くこども・若者として、これからの明石のまちを、私たち自身の言葉で考え、計画にまとめることになりました。

この計画を考えるために、明石市が行った公募に応募し、「未来の明石のまちづくりに関心がある」という思いをもったこども・若者が集まり、こども・若者会議のメンバーとして話し合いを重ねてきました。

私たちは、明石のこども・若者の代表として、自分たちの意見だけでなく、学校でのワークショップやアンケートを通して、より多くのこども・若者の声を聴きながら、未来の明石のまちづくりにつながる「こども・若者計画」をつくってきました。

これまで、まちのことは大人が決めるものだと思っていた人も多かったと思います。でも、私たちは日々の生活の中で、「こうだったらいいな」「ここが少し困っている」「もっとこうしてほしい」と感じるものがたくさんありました。

この計画は、そうした思いを出し合い、話し合い、こども・若者自身の声をもとにまとめたものです。こども・若者のための計画であると同時に、こども・若者が考え、つくった計画です。



こども・若者の声で明石の未来を変えて、動いていきます

ここにまとめた施策は、こども・若者会議での話し合いや、アンケートで寄せられた多くの声をもとにまとめられたものです。

私たちの声がかきかけとなって、明石のまちが変わっていく。そうした積み重ねで、明石の未来が動いていくと考えます。

この計画は、大人たちが受け止めて実行していきますが、自分たちも一緒に、これからも大人と対話しながら、明石の未来を創っていきます。



みんなの心で、安心して自分たちの声を実現できる明石

柱1 あらゆる危険から命を守り、自然と共に快適に暮らせる環境づくり

- ①安全・安心なまちづくり
- ②快適で自然にやさしい生活環境づくり
- ③情報(伝達)や移動しやすい環境づくり
- ④健康と生活を支える基盤づくり

柱2 人と人がつながり、笑顔で、時に迷い込む居場所づくり

- ①安心に過ごせる居場所づくり
- ②体験や交流の機会づくり
- ③学びと交流の環境づくり
- ④地域とつながる仕組みづくり

柱3 少子・意見の平等に伝えられる場所を受け止める権利を確保する仕組みづくり

- ①声を聴き、反映する仕組みづくり
- ②相談場所と伴走支援の充実
- ③多様性と人権を大切にする取組
- ④挑戦と自己実現を支える取組